

2022年11月14日 No. 164

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 池内 顕典

東京都港区芝2-8-13 KITAハイム芝3F

TEL03-6779-8382 FAX03-6453-7857

URL: <http://www.nugw.jp>E-mail: nugw@nugw.jp

全国一般全国協



2022.9.11 全国協第32回大会@東京新橋

◎第32回大会の成功かちとる

私たち全国協は、9月10・11日に第32回定期大会の成功をかちとった。

4つの基本方針、「①同一労働同一賃金と均等待遇の取組み、②法定最賃と職場賃金的大幅アップ、③職場闘争を強め、労働時間規制と労働法制改悪阻止をめざす、④労働局や最賃審議会などへの全国統一行動」

全国協第32回大会成功のうえに、秋年末闘争から23春闘を闘おう!!

を新年度も継続することを確認した。

大会論議の中では、①今

◎米欧はじめ世界的な不況

コロナ・パンデミックとウクライナ戦争の長期化で、資源価格の高騰と、半導体はじめ供給制約が続くなか、米欧はじめ世界的な不況に入っている。世界中で、エネルギー価格と食料・生活必需品の高騰が、低所得者層を直撃し、貧富の二極化が激しく進んでいる。崩壊した世界的な資源・労働力の供給網の再構築にむけて、大国の覇権主義がぶつかり合い、戦争の危機と労働者への犠牲を強いる歴史的大転換期に入った。

とくに日本では、約25年間にわたる実質賃金の低下のために、世帯所得の最多クラスは200万円台となった。

秋期の物価再急騰に対する生活防衛の一時金闘争、②年内に法定最賃の再改定の取組み、③戦争と軍備拡張に反対・改憲阻止、の3方針を確認した。

このまま円安(145円)が続けば、この最多クラスの家計負担は、岸田政権のいう物価高対策を織り込んでも、22年度は前年比で世帯当たり「年間6万2千7百65円増」という。

実際に、全国の先行指標とされる東京都区部の消費者物価指数(生鮮食料品を除く)の10月分は、前年同月比3.4%上昇だ。上昇率は、昨年10月0.1%から急上昇している。項目別では、生鮮食品を除く食料品全体の上昇率は5.9%、エネルギー24.2%だ。これでは私たちの生活は立ち行かない。

◎戦争する国づくり、改憲を止めよう!

11月10日から「台湾・日本有事」を想定した共同軍事演習「キーン・ソード23」がおこなわれた。南西諸島を中心に、自衛隊2万6千人・米軍1万人で、航空機・艦艇を動員した大規模なものだ。岸田政権は、「安保3文書」改定で、敵基地攻撃能力の保有、防衛費5兆円超の2倍増をめざしている。また、原子力政策を大転換して、原発再稼働・廃炉延長を決め、福島原発汚染水の海洋投棄を来春にも強行しようとしている。こんな事は許せない。

◎円安・物価高騰と闘おう!

①今秋年末に「生活一時金」獲得を!

提出しよう。すでに岩手、栃木、新潟、山口、埼玉、京都で取組んだ。全国での取組みを!

全国協の中では、年末一時金の増額10万円要求の支部や、大会で物価上昇分の一時金統一要求を決議するなど取組みが進んでいる。今秋年末、物価高騰による生活防衛一時金を獲得しよう。

②最賃「再改定」を要求しよう!

12月初旬までに労働局に対して「再改定申立書」を

スケジュール

- ・11/26(土)13:30~
オルガナイザー養成講座第3回
- ・11/27(日)10:00~17:00
ユニオン合同労組連絡会
第7回総会・全国交流会@東京
- ・12/16(金)18:00~
第3回中央執行委員会
- ・1/28(土)13:00~ 29(日)正午
第28回各県代表者会議@東京

最賃闘争

厚労省に最賃の再改正を要請

10月24日、最低賃金大幅引き上げキャンペーン委員会は、厚生労働省に今年度の最低賃金の再改正を審議会に諮問するよう要請した。

今年10月の最低賃金の改正は、物価上昇率にも満たない不十分なものであった。



岩手

9月12日、共生ユニオンいわては岩手労働局

に対して、パートタイム・有期雇用労働法、無期転換に伴う労働条件の変更、最低賃金の均等化の3点について申し入れ交渉を行った。

最低賃金については、非正規労働者が半数近くなり、子供も生めない現状を変えるには大規模な引き上げが必要、秋からの大規模なスクリーンが確

しかも、地域別最低賃金が決定された後も物価高騰が続いている。中央最低賃金審議会が出した目安各申は、公益委員見解として、消費者物価等の経済情勢に関する状況認識に大きな変化が生じたときは、必要に応じて対応を検討することが適当であるとしている。

フランスやドイツでは、物価騰貴の中、1年間に4回もの最低賃金の引き上げを行っている。最低賃金大幅引き上げキャンペーン委員会は、日本でもこれまで

実現される中で今年度中に再改定の必要があると訴えた。

また、9月28日付で岩手労働局長あてに地域別最低賃金再改正の要請文を郵送し、特に北海道に次ぐ寒冷地岩手で働く最低賃金近傍の労働者の生活に思いを寄せて、年内に最低賃金法第12条に基づき、岩手地方最低賃金審議会に地域別最低賃金の再改正を諮問するよう要請した。

通りの年1回の改正では、低所得者層の生活は守ることができないとして、厚労大臣が年内に、最低賃金審議会に対して最低賃金の再改正を諮問するよう要請した。厚労省の対応は、最低賃金の改正は年1回と決められているわけではないとしながら、最低賃金改正の3要素、物価、賃金、支払い能力を総合的にみて判断するとして、要望は聞き置

京都

最低賃金関連で京都は9月30日に最低賃金再

改定の要請を京都労働局に提出。



10月1日

には「今月から最賃が上がります!」宣伝を行いました。(京都は今年10月9日に発効ですが)スマホで写真撮る人が多い

くという対応であった。既に地方労働局長に対しては、岩手、栃木、新潟、京都、山口で最低賃金再改正の要請書を提出済みである。今後、宮城や福岡が要請書提出を計画している。岸田内閣は、物価対策の中で賃上げの必要性を強調しているが、政府ができる低所得者層の唯一の賃上げが最低賃金の引き上げである。地方労働局長に最低賃金再改正の要請書を提出し、再改正が必要だとの大きな声を挙げよう。

最低賃金の再改定を求めて要請行動

11月2日、ユニオンネットワーク・京都のメンバー4人で京都労働局に2回目の要請を提出しました。労働局からは、『最賃法12条に基づく再改定で、決定要素三つの内、「生計費」については現状を理解するが、残る二つの要素である「賃金」「支払い能力」については改正の検討を要する

く、「拡散お願いします!」とマイクで呼びかけも。ビラの受け取りは今一つ。物価高騰に負けない最賃水準を求めよう!格差をなくそう!年内に再改定を!など訴えました。

状況とまでは言えない」というものでした。

こちらからは、①「賃金」の引き上げはすぐにはできない。②企業物価指数は消費者物価以上に急騰しているが価格転化ができない中小企業の「支払い能力」はむしろ悪化している。③しかし、低所得者は貯蓄ゼロ世帯も多く、一年先の賃上

全国協第32回定期大会感想文

宮城合同労組 仙照会支部 岩瀬 翔

私は今の宮城合同労働組合に加入してから約17年経ち、定期大会にも何度か参加していましたが、今回議長の話があった際はじめ「え?自分が」って思いました。けれど「まあ、これも一つの経験として」と考え引き受けることにしました。

当日山口連帯労働組合の三輪さんと一緒にすることとなり打ち合わせし、一日目は三輪さんに担当していただき大会の進行の仕方について学ばせてもらいました。zoomでの進行は思ったより難しく周りを見つつ常に各組合の画面をチェックして大会を進めなければいけないため議長一人では難しいと感じました。

二日目、私の担当となり前日のことを復習し、本日のイメージを描き、いざはじめた途端まさかのマイクのハウリングが酷いというトラブルが発生しました。予想外の出来事でうまく大会の進行が出来ませんでしたが、渡辺副委員長をはじめ周りの方によりサポートを受けながらどうにか行いました。

大会の進行はある程度頭に入っていたが、実際することで分からないところがいくつも出てきたので、この経験を活かして10月に行う宮城合同労働組合の定期大会に繋げていきたいと思っています。



京都労働局前の最低賃金横幕

げを待つ余裕はない。事態は急を要する、ということに訴えました。最後に、中央最賃審議会の目安全員協議会が開催されていることに触れ、ランク制の見直しを小手先ではなくランク制廃止全国一律化へと見直してほしい、と訴えて申入れを終えました。

全国のケアワーカーが 厚労省前に座り込み

昨年末、岸田政権が行ったまやかしの「介護・福祉労働者の賃上げ」政策に対し、介護労働者の怒りが渦巻いています。

私たち全国一般労働組合東京南部ケアワーカー連絡会と、関西を中心に活動している「介護・福祉総がかり行動」は、本年9月には全国のケアワーカーと現場の怒りをまとめあげる「9・25介護現場を守るみんなの集会」を行いました。そして、10月24日～28日まで、1週間の厚労省前座り込み行動に取り組みました。座り込みには、全国から多くのケアワーカー、労働者、市民が集まり、アピールと交流を行いました。

座り込みに参加した仲間、現場に設置されたボードにメッセージを書き、貼り付けました。黒いボードが、色とりどりのメッセージで埋め尽くされました。最終日の10月28日にはケアワーカーの窮状を訴えるべく、記者会見を行いました。



10.17 大阪地裁



10.28 厚労省前

「納得のいく和解に向けて」3年ぶりに組合合宿を開催しました

三多摩労組

11月22日にはいよいよ厚労省・財務省との省庁交渉に臨みます。省庁交渉への賛同・参加を呼びかけます。
(東京南部 井田 敬)

コロナ禍で労働委員会が中断延期し、相談と係争が増加し、高裁1件・中労委1件・都労委4件の不当労働行為事件を抱え、現在、多数和解進行中となりました。和解進行件数増加を受け「納得のいく和解解決に向けて」をテーマに、三年ぶりに組合合宿を開催しました。

現在進行中和解は、労働者性のある個人事業主問題における団交ルール、一時金の算定方法など様々です。

組合合宿の討議では、発達障害を抱えた当該の職場環境整備に向けた和解ケースで、家族の障壁問題も含め他人事ではなく寄り添えた感がありました。「職場では組合内のように優しい目線はない」と会社弁



10月17日から大阪大学と裁判 非常勤講師の雇用を守ろう!!

ゼネラルユニオン

10月17日から、ゼネラルユニオン組合員が原告となり、国立大学法人大阪大学を相手とする裁判が大阪地方裁判所で始まりました。「無期雇用契約者」としての地位確認を求める裁判です。非正規労働者の雇用の安定が社会的課題となり、現

政府も少なくともその「看板」を掲げている中で、この「国立有名大学」は非常勤講師との契約を今年3月までは「準委任契約」(業務委託契約)と呼び、「雇用はしていない」と語り、使用者としての責任から逃れ、非正規労働者の雇用安

護士は言いますが、このケースでは障壁に対する優しい

目線の拡大こそが、和解の獲得目標だと確認しました。

技能実習制度を廃止しよう!

福山ユニオンたんぽぽ

福山ユニオンたんぽぽは、労働相談活動を中心に「国葬」反対や沖縄問題など社会的な課題にも積極的にかかわってきました。そんななか、労働相談が組合に多数寄せられてきています。混乱を深める日本社会の現状が背景にあると思います。技能実習生からは、未払い賃金、職場での暴言、暴力から在留期限や進路、生活問題など多岐にわたる相談があります。



技能実習制度廃止キャンペーン尾道行動

また、日本人労働者からの相談は、退職勧奨、職場での暴力、残業代未払賃金を内容としたもので、いずれも団体交渉で金銭和解として解決しました。これらの案件は、比較的短期間で解決しましたが、技能実習生からの相談・交渉においてに反対し続けてきました。

です。この闘いは、優れて社会的意味を持つ闘いであって、ゼネラルユニオンはそれにふさわしい姿勢で臨みます。勝利のために全力を尽くします。全国の仲間のご支援を願います。

11・11銀座デモ

全国一般・全労働者組合に所属するF.A.に対する不当解雇の無効を求めるユニテッド航空裁判で、9月



ユニテッド闘争団

30日に最高裁において上告棄却決定がされた。憲法で保障される権利において解雇は無効だと主張したが、最高裁は不当解雇を認めた。会社の言い分ばかりを認め不平等な決定だった。

屈することなくユニテッド闘争団は、「11・11銀座デモ」に取り組む。この行動が、米シカゴに本社を置くユニテッド航空に圧力を与えるとは思えない。し

最近の職場活動

ラジオメーター労働組合

円安やウクライナ情勢、

原材料の高騰、半導体不足などラジオメーターが所属している医療機器業界も他の業界同様取り巻く環境が厳しくなっています。また、厳しい労働環境の中、社員が疲弊してネガティブな雰囲気も出てきて、従業員のエンゲージメントも低くなっている状況です。外資系企業では日本でコントロールできないことも多々あり、組合としても難しい局面で

しかし、ポジティブに捉えると、この難局は職場や組合を変えるチャンスでもあります。組合としては、まず組合員一人一人が自分の職場環境をもう一度見つめなおし、今できることを組合内で意見交換して、会社と対等に対話ができる存在になっていくように日々活動していきます。

(委員長 高橋良平)



重大労災争議勝利解決 報告集会を開催！

東京東部労組大久保製薬支部

東京東部労組大久保製薬支部は10月13日、重大労災争議の勝利解決報告集会を開催。3年に渡る争議をとくに闘った仲間70人が結集しました。

支部の金澤委員長は基調報告で「重大労災で



かし、何もしないのもまた違う。人生を奪われ黙って泣き寝入りするのは逃げることになる。負け続けながらも闘い、想いを声に出すため「11・11銀座デモ」に力を結集したい。(ユニテッド闘争団・千田正信)

第62回定期大会を開催

宮城合同労組

10月16日宮城合同労組は、62回大会を執行委員と代議員二十数名の参加で開催しました。

冒頭、現職で昨年11月急逝した田邊省三副委員長、遠藤一郎顧問の遺影に、僧侶でもある半崎特別執行委員の合図で黙とうを捧げました。

発言者の最初に、キスデム裁判原告の高橋圭美組合員が率直な心境を述べ、2

千万非正規労働者の未来をかけて、当該である宮城合同労組一丸となって、また全国へ広く訴えて勝訴を闘い取る決意を固めました。

討議を経て、4名の新任執行委員を含む新執行委員を選出して大会を無事終了することができましたことを報告いたします。



は成功裡に締めくくられました。

東部労組大久保製薬支部はこれからも職場環境・安全に目を光らせ、労働者の命を守る闘いを職場・地域で続けていきます。

